

報 廣 ま っ だ い

町PTA研究大会終る

去る十月二十八日、蒲生小学校において本年度の町PTA研究大会が約百八十名の参会者のもとに開催されました。

この大会は、研究主題を「心身ともにたくましい子ども、創造力豊かな子どもに育てよう」ということで、未来に向けて伸びようとする可能性ゆたかな子どもを育てるために、地域・学校・家庭を通じて、PTAの活動のあり方を究明することを主眼として開かれたものです。

この日は朝九時二十分より開会式、続いて五つの分科会に分れて午前中熱心な研究討議が行なわれました。

第一分科会では「PTA活動の

正常化をよりはかるために組織、運営はどうあったらよいか」というテーマでしたが、現状分析として、部落ぐるみのPTAの場合、後援的な話し合いが多いように思われる。

もっと子どもの教育に開いた内容にしたい。

組織づくりとしては、PTA本来のあり方をよく考え、地域の実情に依りて考えるべきである。

一人ひとりがPTA会員としての意識をしっかりと持ち、PTAが同じ力関係の上で子どもを支えるようにしなければならぬ。

会員相互の研修として他校視察を実施するのも成果をあげるようだ。等話し合われました。

また、給食婦の待遇改善が強く要望されました。

第二分科会では「たくましい子どもの育成のために、PTAはなにをしたらよいか」ということで、たくましい子どもの条件として、批判力、自主性、獨創性、不倒の精神を養うことが必要であるということを前提として話し合いが行なわれました。

体でおぼえる教えの大切さを考え、地域におけるサークル活動を

推進し、子ども会を育成していく

ことによって、スポーツ活動やキャンプ、親子ハイキング等を通して

心身ともにたくましい子どもを育てよう 創造力豊かな子どもを育てよう

て、人間関係を育成するとともにテレビ文化オンリーにならず、この自然のよさを教え、郷土の行事に積極的に参加させる。また部活動のように、目標を持たせて多くの体験をさせることもよい。等多くの話し合いがなされました。

第三分科会では「豊かな心をもつ子どもを育てるための、親と子の接触のあり方をめぐって」というテーマで話し合いが行なわれ、

氾濫する物質と社会的道徳観の乱れで、味のない利己主義的な人間が多くなって来ている現在、日常の親と子の対話の重要性を考え子供が話しかけて来るような話の種を用意する。コゴトは対話ではなく、子どもの心を閉ざしてしまえばかりであり、子どもの話しをよく聞き、長所を認めてやること

が大切である。本県の親の姿として、①家庭内での話し合いがほとんどない。②

男の子だけを大事にする。③悪いことばかり取り上げて文句をいうというような残念な統計も出されました。

子どもと労働の問題については家中みんなで働く喜びを子どもに理解させるために、責任を持たせた仕事と役割を与えることが必要であること。また農繁期休業は、分科会出席者全員が必要との考えでした。

子どもがテレビを自由に見るのは困るということについては、親が子どもの見るテレビ内容を選択するとうきびしさが必要だと思う。等の話し合いがなされました。

第四分科会のテーマは「望ましくないマスコミ(情報公害)に対し、PTAはどのような対処したらよいか」ということでしたが、現代はマンガ、週間誌等が氾濫しているが、子ども達が自身のためになるようなものを選択する力をつけるよう、学校・家庭で適切に指導していかなければならぬ。

また性教育については、あまり神経質に考えることはないが、一般的理論は学校で、具体的問題については家庭で正しく教える時期に来ていると思う。

親として学校におけることばかりでなく、日常生活の中に問題を見つけて子ども達に接してゆく必要がある。親子の対話をより多く持つことによってテレビ、マンガ公害等無くしてゆく事もできるのではないかと。という様な話し合いがなされました。

(次頁へ)

昭和50年11月10日発行
第192号
東頸城郡松代町公民館
館長 関谷 昭平
電話 松代 301番

印刷 松代印刷所

第五分科会は「過疎地における子どもの幸せと、進路をどう考えたらよいか」というテーマでした。過疎地ということに対して、先ず親の方が考え方、気持を明るく方へ転換する必要がある。マスコミが出稼ぎ、過疎を悲観的にとりあげ過ぎていゝのではないか。子ども達は決して暗い気持ちでとらえていない。

出稼ぎと子どもという問題も、子ども達に留守中の責任を持たせ父に代ってやるんだという強さを持たせる好機であるのに、反対に甘やかす過ぎてはいないか。

進路指導については、子供達の年令では進路決定は困難であろう。大人の考えを押しつけるのではなく、子どもの能力を考えた指導が必要ではないか。高校進学高率化時代ではあるが、普通高校一本槍でいいのだろうか。などの討議が

交わされました。

午後は約一時間にわたり前上越市大手町小学校長の宮沢正彦先生による「このごろ思うこと」と題する記念講演が行なわれました。子どもはいつも親の行動を見ていゝ。日常生活の中で働く事の尊さや、他人への思いやりの態度を示してやるのが大切であり、押しつけるのではなく、共に学ぶという気持が子どもの心を理解することに通じるのではないかという旨のお話があり、午後三時閉会となりました。

次の時代をになう子供達のよりよい育成は、地域開発と共に考えて行かなければならない事であり今や急務とさえ言われる子どもの問題は地域ぐるみで考えなければならぬ重要性を持つものとして参加された方々の胸深く感じていただいた意義ある一日でした。

松代保育園創立

十周年記念大運動会

町内保育園合同で

松代保育園が昭和四十年十一月に保育を開始してから十年になりますので、これを記念して松代、室野、蒲生の町内三保育園が一緒になり十月十二日に松代小学校で父母、観客など約五百人が集り祝いの大運動会を実施しました。

当日は、初代の主任保育母だった佐藤百合子先生を始めすでに退職された保育さん、松代保育園建設に陰の力となってお骨折り下さった、当時の婦人会の役員方も来て応援して下さい、なごやかでした。楽しい大運動会になりました。

← 声援に応えて頑張るつな引き



→ チビッコ選手スタート前

国保加入の

健康家庭を報償

松代町では、国保加入世帯のうち健康で家族ぐるみ医療費の給付を受けなかった世帯に報いると共に健康をたゝえて、この程感謝状と記念品を贈呈いたしました。

☆ 報償要件

報償は毎年三月一日現在で五年以上、三年以上、一年以上に区分し、この期間医療費の給付を受けなかったことがないこと及び同期間国保税等の滞納金がない国保世帯に対し、予算の範囲内において報償する。

☆ 五年以上無給付世帯

該当世帯なし。

☆ 三年以上無給付世帯

(昭和四七年度～四九年度)

- 柳 金兵衛 千年 田保
- 五十嵐政勝 会沢 天京
- 富井 タケ 海老 大下
- 美濃和政則 福島 徳院

☆ 一年以上無給付世帯

(昭和四九年度)

- 柳 春由 松代 柳屋
- 室岡 幹男 " 松栄館
- 柳 和平 " 大門
- 鈴木 春吉 " 五右工門
- 市川辰次郎 " 橋屋
- 富沢 与吉 小荒戸 中西
- 高橋 芳松 " 四郎右工門
- 市川賀長治 田沢 孫吉
- 関谷 吉蔵 千原 長蔵
- 小野島フミエ 会沢 長蔵
- 寺崎 正 桐山せいざえん
- 若井 留蔵 蓬平 十二様
- 小塚直太郎 " 平治郎
- 小塚 亀市 " 沖
- 石沢 三平 " 板屋
- 若月 ミカ 海老 島田屋
- 中村安一郎 田代 安右工門
- 高橋 オヨ 蒔平 宮ノ下
- 井上 一郎 寺田 横手
- 山岸軍次郎 蒲生 鍛冶
- 小塚 トメ 儀明 定七
- 仲村 トシノ " 松右工門
- 堀川 兼正 福島 水上
- 西潟 茂達 " 源吾
- 西潟 義之 " 桃屋
- 佐藤 芳平 室野 恵比寿屋

国保一問一答

出稼者の家族が

医者にかかる場合

問 私は出稼者の家族ですが、今松代町の国保の保険証を使って医者にかかっています。夫は出稼先で社会保険に入ることになると思うのですが、会社の保険証が来るまでの間、町の国保の保険証を使ってよいでしょうか。

答 出稼先で社会保険に加入の手続きをとりますと、ほとんど勤めた日から社会保険に加入することになりますので、医者（医療機関）とよく連絡をとり「保険証が変更しますので保険証が来しだい持参しますから、しばらく請求手続きを待ってもらえませんか」と医療機関の了解を得て医者にかかるようにしていただきたいと思います。

問 夫が出稼先で社会保険に入ったか入らないか、わからない場合、家族が医者にかかりたい時はどうしたらよいでしょうか。

答 出稼されている方と早目に連絡をとり、いつから社会保険に加入したかを聞き、受診する医療機関に連絡をとり、さきほど申し上げたと同じ方法で医療機関の了解を得ることが必要です。もし社会保険に加入しないことがわかった場合はそのまま国保

の保険証を使用して下さい。出稼先で社会保険に入ったのを使用しないで町の国保の保険証を使用する場合は、国保（役場）が負担した医療費を医療機関に支払いますが、後日立替えた全額を国保へ世帯主から返納していただくこととなります。

問 出稼先から保険証が送られてこないうちに医者にかからなければならぬ事態が生じた場合保険証なしでも医者にかかれるでしょうか。

答 町内の医療機関には、診療してもらえぬ様に、あらかじめ御協力をお願いしてありますので診療してもらえぬと思えますが、町外の医療機関にまでお願いしてありますので、町外で保険証なしに医者にかかる場合はその事情を良く話して医療機関の指示に従って受診して下さい。たてまえは、あくまでも保険証を窓口で提示してから受診するようにする必要があります。

なお、わからないことがあります。たら役場の国民健康保険係（電話一番）へお問い合わせ下さい。

家族そろって正月を…… 正月帰省バス運行

—— 申込みは12月10日までに ——

毎年実施しております出稼者の正月帰省バスを、今年も次により実施いたします。

出稼者の皆さんには、季節移動労働者必携ですでお知らせいたしました。一般の方々でもご希望がございましたら料金を添えて12月10日までに役場職業係へ申込み下さい。申込み用紙は役場に用意してあります。

正月帰省バス運行計画

	東京～松代	名古屋～松代	大阪～松代	お守りいただきたいこと
料出稼者	3,100円	3,600円	5,100円	○集合時間は厳守 ○荷物はスーツケース1ヶ程度 ○酒類の飲食はほどほどに ○最悪の場合大島より歩かれる服装、履物の用意をお願いします
金その他	4,100円	4,600円	6,100円	
出発日	12月28・29・30日	12月28・30日	12月29日	
集合場所	上野 西郷銅像脇	名古屋 新幹線口前	大阪駅西口	
集合時間	午後8時まで	午後7時まで	午後5時まで	
出発時刻	午後9時	午後8時	午後6時	
松代着	翌朝9時頃	翌朝9時頃	翌朝10時頃	

再赴任の受付は……1月2日1日限りです

お正月を一家団らんですごされたあと職場へお帰りになれる場合も貸切バスを運行する予定です。

受付は1月2日午前9時から午後4時まで役場職業係でいたします。電話等で申込み下さい。この時間以外は一切受付をいたしませんのでご了承下さい。

再赴任バス運行計画

	松代～東京	松代～名古屋
第一次案	(降雪のない場合) 役場前発 午後4時	東京・名古屋へ
第二次案	(若千の降雪の場合) 役場前発 午後4時	大島乗替で東京・名古屋へ

霊柩車

寸法を大きくしました。

霊柩車は購入以来多数利用されて来ましたが、柩の寸法を大きくして欲しいとの要望が強かったので次のように三十糎長くしました。長さはこれ以上長いと無理ですが巾と高さはこれより大きくても入ります。なお使用料は無料です。

改造後の大きさ

長さ 一六五センチメートル
巾 五一
高さ 五二

☆申込みは戸籍係へ

霊柩車は死亡届と関連がありますので住民の利便を考え取扱いを戸籍係りにしました。利用を希望される場合は、死亡届の際社会課戸籍係りへ申し出て下さい。

戸籍の窓口から

十月受付分 (受付順)

ごけつこん
おめでとう



松沢啓太郎・山岸より子 儀明新屋
市川 栄造・吉楽ヤイ子 田沢 上
若月 忠一・高橋 良江孟地忠右工門
武田 敏郎・岡田 恵子 松代福多屋

(次頁下段へ続く)

飲酒運転追放100日運動

飲酒運転をやめましょう

50年11月11日
51年2月18日

飲酒運転は、いわゆる交通四悪のうちでも最も悪質な行為であり、その追放に努力していますが依然としてあとをたぐない実情です。特に、例年秋から年末・年始にかけては飲酒する機会が多くなることから、飲酒運転による重大交通事故が県内で多発する傾向にあるので、町民一人一人の自覚のもとに総ぐるみの力を結集して、飲酒運転をなくするため松代町では次のことを実施します。なお、新潟県内の人口一万人当りの酒よい事故率は県平均一・一四件に対して松代町は、二・五〇件と高く県内一二市町村の三六番目に当り、まったくありがたくない数字です。この運動を期して、飲酒運転追放にご協力願います。

一、飲酒事故防止のため警察では検問の実施で指導取締りの強化をするともに、酒気帯び・酒よい運転・運転して来た人に酒を出したり、これを補助した者に対する責任追及の徹底を図る。
二、飲酒運転追放宣言等の促進などを行なうため、会社・事業所等において、飲酒運転追放の申し合せ宣言(決議)署名運動等が自主的に行われるよう勸奨しようし、職

場内における飲酒運転追放の気運を高める。

三、運転者に対する酒類提供・あがり酒等の地域慣習を打破するため、各種学級講座等による社会教育を徹底する。

四、飲酒運転は、交通違反であるとともに、死亡・重傷等重大事故につながります。酒を飲むと気が大きくなり、正しい判断ができなく決断的に幸福な家庭を破壊にいたりやります。次の三件を厳守いたしましょう。

- ①酒を飲んだら、運転しない。
- ②運転者には、酒をすすめない。
- ③運転するときは、酒を飲まない。

◎飲酒運転者の氏名公表のお知らせ。

運動期間中において検挙された飲酒運転違反者の住所・氏名・年令・違反事故年月日が所轄の警察署を通じて松代町長に文書で通達があり、これを(広報まつだいに)発表公表致します。運転者ばかりでなく、酒類提供者とも公表されますので、家庭のお母さんがた、車を運転して来た者には酒をすすめないように十分な注意をお願いします。!!これからの運転は

更に安全運転を!!

これからは朝晩冷え込むため、車内のヒーター等でガラスがくもりがちになります。また、雪が降ると窓に付着し前方の危険状態の発見がおくれ、事故

人口の推移

国勢調査から

十月一日全国いっせいに昭和五十年国勢調査が実施されました。皆さんの御協力に感謝いたします。

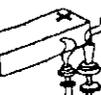
さて、人口概数の結果ができましたので発表します。尚、この数値は、総理府の公表により確定するものです。昭和五十年十月一日現在において当町の世帯数は二千七十二世帯、総人口は男四千四百四十六人、女四千二百二十七人で計八千二百七十三人です。昭和四十五年調査以降五年間に千四百六十七人減少し、その減少率は、十五・一%になっています。

字 名	昭和50年国勢調査				
	35年国勢	40年国勢	45年国勢	合計	男 女
松代	1965	1908	1807	1830	929 901
小大	221	196	168	139	67 72
菅田	152	153	120	148	66 82
屋之	302	289	220	190	93 97
下千	230	218	173	132	64 68
池之	126	113	86	51	29 22
下千	152	128	106	97	49 48
下千	244	197	183	145	69 76
池之	527	480	389	346	152 194
池之	184	159	130	92	47 45
池之	300	250	189	168	79 89
池之	410	347	305	231	105 126
池之	203	161	122	149	75 74
池之	486	430	369	332	162 170
池之	55	48	41	36	16 20
池之	287	259	195	155	69 66
池之	521	446	382	380	209 171
池之	150	122	116	99	55 44
池之	105	91	74	38	22 16
池之	151	123	104	67	39 28
池之	64	48	35	24	13 11
池之	193	158	144	119	57 62
池之	338	293	241	212	109 103
池之	205	184	166	134	63 71
池之	283	246	180	124	63 61
池之	302	238	190	150	78 72
池之	103	87	68	53	28 25
池之	154	119	98	39	17 22
池之	420	310	241	185	92 93
池之	209	175	139	72	37 35
池之	769	640	535	421	219 202
池之	529	434	379	401	227 174
池之	280	245	194	151	75 76
池之	126	108	84	72	35 37
池之	1,218	1,027	902	747	352 395
池之	227	197	165	122	62 60
池之	166	138	115	52	29 23
池之	403	316	277	237	122 115
池之	327	271	238	153	72 81
池之	13,076	11,332	9,740	8,273	41,46 4,127

—人口のうごき—(50年11月1日現在)

世帯数	2,081 (-1)	出生	8	死亡	11
人口	男4,090 (-1)	転入	23	転出	22
	女4,148 (-1)	増計	31	減計	33
	計8,238 (-2)				

おくりやみ (死亡)



宮沢 ハル 七三才 下山 坂本
関谷藤吉郎 六六才 松代とうふや
宮沢 キミ 七一才 下山 山城
室岡 留作 七六才 仙納 森下
山岸 クニ 七四才 片桐山栄持屋
宮沢 太郎 六九才 下山 干場
小山 ヨキ 九三才 小貫 家之下
島田 辰治 五九才 千年久左エ門
寺崎 文平 六七才 桐山 金八
牧田松太郎 七一才 峠 たんぼ
谷沢 義雄 七五才 濁 宮下

おめでとー

宮沢 勇貴 父俊 長男 下山 大門
山岸 政光 父弘基 二男 松代 上原
笠原 千秋 父等 長女 小荒戸又七
菅井登志子 父公夫 長女 松代志茂喜
小堀 健 父広和 長男 蓬平政いん
池田 博美 父克己 長女 田野倉
五十嵐 洋 父鉄司 長男 長左エ門
青沼 謙一 父徳 長男 会沢 坂中
母貞子 長男 松代大林組
母庸子